



さくら

題字 足立区長 近藤 やい
足立区民生・児童委員協議会だより

発行

足立区民生・児童委員協議会
会長 小久保 隆
編集 広報委員会
発行日 2017年7月1日
〒120-8510
足立区中央本町1-17-1
TEL 03-3880-5870



長門小 5年 石井彩絢 作「みつばちとお花畑」

目次

民生・児童委員PR週間	2
さくら感謝状贈呈式	3
合同会長紹介	4
地域のボランティア	5
「シリーズ子どもたちはいま」	6
こころの健康フェスティバル	7
「宮崎会長・中田特別顧問 に感謝する会」	8



またお世話になります

福祉部長 川口 真澄

＝地域見守りのDNA＝

今年5月に、大河ドラマで話題になった真田の里である上田を訪れました。山桜や花桃、山吹等々、誰に言われるでもなく、季節になったら色を付ける自然の素晴らしさを改めて感じ、里歩きをしながら、民生・児童委員の皆様のことを考えていました。地域で支援が必要な方に、そっと寄り添い、必要に応じては行政へのパイプ役を担っている皆様は、季節の花々と同じようにみえないけれど大切なDNAをお持ちだな、と。

そんな皆様とまたご一緒にお仕事ができることをうれしく思っています。お世話になります。よろしくお願いします。



お世話になりました

前福祉部長 橋本 弘

福祉部長在任中におきましては大変お世話になりました。ありがとうございます。39年間の公務員生活の中では様々な関係団体の方々とお付き合いをさせて頂きましたが、民生・児童委員の先生方との思い出は、もっとも心に残るものでありました。最後に福祉部長として退職できたことは大変幸せです。

こどもの貧困対策、持続可能な高齢社会の構築、生活保護の適正実施など福祉行政の課題は山積しています。民生・児童委員協議会、社会福祉協議会、足立区役所の三者の協創により、区民福祉が増進することを期待します。月並みな言い方ですが、一区民として見守ってまいります。



13日 メインイベント

式典 アトラクション



足立区歌「わがまち足立」を参加者全員で斉唱した後に、「民生・児童委員信条」を朗読しました。開会の辞は、実行委員長の市村智第四合同会長が行い、続いて小久保隆足立区民生・児童委員協議会会長より「民生・児童委員 PR 週間は、区民に民生・児童委員の活動を知ってもらいたいということで始めたイベントである」と主

催者を代表して挨拶がありました。

来賓として、近藤やよい区長、高山のぶゆき区議会議長、中田貢弘社会福祉協議会会長、そして相馬市から只野裕一社会福祉協議会会長にご挨拶を頂きました。近藤区長から「民生・児童委員の活動があってこそその足立区です。社会的弱者の問題は、経済的なものより、相談できる環境がないことの方が大きい。子どもに対しては地域のイベントに参加できるようにするのがよい。」と、高山議長からは「今日も多く区議が出席しているように、議会として民生・児童委員活動を側面からサポートしていきます」とのお話がありました。



▲松本氏



▲コーラス部「葦立コール絆」の皆さん



▲山野井氏



▲石山氏

あいにくの雨、特設舞台、音響効果も万全ではない中、式典の幕開け。シンセサイザーから流れるメロディーをバックに、松本真昭氏による鍵盤ハーモニカの演奏のはじまり。会場内を楽しく弾き回っている姿は多くの子ども達へ教え伝える氏の熱い想いを感じました。足立

区民生・児童委員のコーラス部「葦立コール絆」による童謡3曲には懐かしく、つつい口ずさむ方もいました。山野井イク子氏、石山啓子氏による伝統舞踊は狭い舞台にもかかわらず舞姿に郷愁、せつなさ、のどかさを感じました。
(広報委員会 記)

5/14(日) 民生・児童委員活動普及・啓発パレード

民生委員制度創設100周年記念

5月14日(日)東京都と東京都民生・児童委員連合会共催のパレードが新宿のメイン通り(新宿三丁目交差点からJR新宿駅東口広場前まで)で行われました。

今年のテーマは、「紡ぎゆく100年 子どもに寄り添う70年」です。都内54区市郡支庁、民生・児童委員の代表約1500人(足立区からは、バス1台40人)が参加しました。それぞれの地区の揃いのジャンパー、ベスト、法被姿で、手には団扇を持ち、にこやかな笑顔で行進しました。沿道では、四谷交通少年団の鼓笛隊、青山学院大学・日本大学・明治学院大学・

早稲田大学の吹奏楽団の演奏が、パレードを盛り上げました。また各地区の社会福祉協議会からマスコットキャラクターが参加し、ますます都民の関心を集めました。

100周年を迎え、これからも紡ぎゆく心と心を大切に、子ども達に寄り添っていける社会であってほしいと願っています。

(広報委員会 記)





年3回発行している広報紙「さくら」は、小・中学生の絵画、俳句の作品で紙面を飾っています。今年も作品を掲載させて頂いた方々に感謝状を贈呈しました。当日はあいにくの雨模様でしたが、保護者の方に付き添われ10名の生徒さんが参加しました。今年の贈呈式は、庁舎ホールの改修工事のため庁舎1階アトリウムの特設会場で行われました。近藤区長から記念品が、小久保協議会会長から感謝状が手渡されました。

不慣れな場所で戸惑いの中、生徒さんはリハーサルに緊張した面持ちで臨んでいましたが、記念撮影の頃には肩の力が抜けた様子でした。途中、作品が映し出せないハプニングもありましたが無事終わることができました。
(広報委員会 記)



▲小学生の皆さん



▲中学生の皆さん

キッズコーナー

手作りおもちゃは、怪我せずに短時間で幼児でも作れるよう下ごしらえされた「牛乳パックキューブ」「プルトップのヘビ」「木工カー」でした。また、「折り紙」等、誰でも楽しめる遊びもありました。今年初めて登場した対戦ゲーム「マンカラ」、運だけでは勝てないようですよ。



消防コーナー

三輪車の赤バイに乗車したり、子どもサイズの消防服を着て撮影ができる、来場親子のベストスポットです。救急救命講習会も行われました。



福祉作業所販売



販売コーナーでは、手芸品、アクセサリ、お花、パン、クッキーを販売していました。朝から雨になってしまいましたが各コーナーには人が集まり、いろいろ見て買い物をしている人、お買い物袋を両手に持っている人がいました。

《相談コーナー》

5月8日から14日まで民生・児童委員相談コーナーが開設され、多くの方が来場されました。主に、話し相手が欲しいとの相談が多く、中には生活費の相談も具体的にあり、対処させて頂きました。

お疲れ様でした。PR実行委員の皆さん



実行委員長
副実行委員長
相談役
特別相談役

瀬間 幸子
大川 正江
梅田 伍子
西澤てる子
濱田 曜子
野本由紀子

市村 智
横山 堂侑
小久保 隆
野辺 陽子

瀬口 淑子
佐藤 純子
落合 睦美
齊藤千恵子
岡部 京子
森 葉子

坂田 誠
森 春枝

谷茂岡 昭
椎名 洋子
小貝 智章
丸山まさ子
貝間 正敏

山本 祥一
杉浦 幸子
田中美代子
秋本 雅信
林 政子
近 ミサ子

小宮俊一郎
佐藤 和子
秋葉 和江
本藤 睦美
鈴木 富枝
高橋 和枝

合同会長紹介



第一合同 横山 堂侑 会長

この度第一合同会長に選出されました。平林名誉会長の後任ということで大変なプレッシャーを感じております。しかし引き受けた以上は私なりにできる限り任務の遂行に努めたいと思っております。第一合同の担当地

区であります千住地区は、最近マスコミに多く取り上げられ、また、東京電機大学の開校などにより若者を多く見かけるようになりました。しかし高齢化の波は急速に進んでいる状況です。そこで今一度、民生・児童委員の原点に戻って我々を必要とする方々に速やかに手を差し延べ、そして各関係機関に繋ぐという本来の活動に第一合同の皆様のご協力をお願い申し上げます。



第三合同 森 春枝 会長

前号43号の小久保協議会会長ご挨拶のとおり、第三合同においても、小久保協議会会長体制のもとで、足立区民生・児童委員協議会を堅実に運営、参画してゆく所

存でございます。この運営・参画とは、各委員皆様のご理解とご協力の活動があつてこそ、連携して成り立つものと考えております。

特に、今期は第三合同のみならず、すべての各委員の皆様と共に稀有なる節目の民生委員制度創設100周年をはさんで、この3年間の活動を充実した記念すべき期間にしたいものと願っております。



第四合同 市村 智 会長

この度、第四合同会長並びに協議会会長職務代理を仰せつかりました市村智でございます。

合同会長という責任の重さをひしひしと感じているところでございます。本年は民生委員制度創設100周年という大き

な節目の年に当たります。これまで先人の方々が築かれてきた活動に対し敬意を称しながら、今、我々は何をすれば時代に合った活動ができるかをこの節目の年に考え、地域福祉の向上の為に微力ではありますが頑張っていきたいと考えております。民生・児童委員信条を活動理念に、地域の相談役としてできることを皆で協力しながら活動していく所存でございます。よろしくお願いいたします。



第五合同 野辺 陽子 会長

私達の第五は、江北・江新（江南・新田）・鹿浜の3つの地区からなる合同です。荒川をはさみ、区の西のはずれに位置しています。今期は3地区とも女性の会長となりました。お互い連携をとりながら、おだやかに

物事を解決しつつ、しっかりと前進させていきたいと日々話し合っております。全委員72名のうち20名が新任委員という若さあふれる(?)合同です。

現在ある足立区民生・児童委員協議会は、先人の皆様方の血と涙の結晶であります。それを誇りとしてその良い伝統を守りつつも、時代のニーズを常に察知しながら、さらに推進させていきたいと思っております。

ボランティアまつり

5月14日(日)開会を待つ大勢の人で溢れ、会場はスタート前にもかかわらず活気でいっぱいです。オープニングセレモニーでは第九中学校吹奏楽の迫力ある演奏に、手拍子とともに「アンコール!」という声が自然に湧き出てきました。舞台発表や模擬店、障がい者施設等の自主製品販売のほかにも、各種体験コー

ナーがあり、どこの人もたくさんの人で賑わっていました。「まつり」という言葉にぴったりの盛り上がりでした。



▲舞台発表の様子

合同会長紹介



第六合同 山本 祥一 会長

昨年の民生・児童委員の斉改選で、この度も委嘱をいただき、第六合同会長の大役も継続してお引き受けすることになりました。特に今年は自らの年齢を超える民生委員制度創設100周年ということで、長い間度重な

る社会的混乱に即して活動してこられた先人の方々へ思いが至り、近年は少子高齢化、人口減少社会の到来、個人主義的意識と相まって、地域の絆が弱くなっていると感じる中、孤立しない「共に支え合う」住みやすい街づくりこそ喫緊の課題だと思います。私自身も民生委員としてお節介な見守りや、親しみやすい相談役を通して一役果たすことができればと意を強くしております。



第七合同 小宮俊一郎 会長

第七合同は、17地区、東栗原地区、19地区、花畑地区の4地区から構成されます。

4号線の東側から北は花畑八丁目、西は西綾瀬一丁目まで、面積は約8km²、人口は約14万人それぞれ足立区の15%、20%を占めております。

花畑地区では2020年に文教大学新キャンパスが開校予定。17地区、東栗原地区では、つくばエクスプレス六町駅、青井駅周辺の区画整理による街づくりが、19地区では五反野駅前ロータリー計画による駅前開発等、新たな街並みと古き良き街並みが存在する調和のとれた足立区の象徴ともいえる地域と考えております。

責任は重い地域ですが第七合同民生・児童委員全員でがんばる所存です。

おことわり

小久保 隆第二合同会長（協議会会長）のあいさつは、前号の巻頭で掲載いたしました。

地域のボランティア 『交流音楽会』

=平成28年12月18日(日) 大谷田小学校体育館=

この『交流音楽会』は、18地区の民生・児童委員のOBで第二合同会長を務めた羽住爽恵氏が発起人となり、平成3年に「障がいを持つ方と持たない方との音楽を通じた交流の場」として発足しました。「綾瀬ひまわり園」のお友達を招き、大谷田小学校金管バンド、長門小学校児童合唱団、保護者やOBのコーラスが参加し、結成38周年の「足立吹奏楽団」の賛同を得て今年で26回目となる地域の年末恒例行事となっています。

羽住氏は保育園「隅田学園」の園長でもあり、息子さんと事務長の羽住圭規さんは、障がい者福祉研究部会長の民生・児童委員です。

今回の『交流音楽会』は隅田学園の園児の明るい合唱や器楽演奏も交え、330名を超える参加者が集い、

師走の慌ただしい時間の中に心とむひとときとなりました。

今年からは、民生委員制度創設100周年を迎えるにあたり、18地区の民生・児童委員が微力ながら後援させて頂くことになりました。

今後より一層、障がい者の方々とお互いに心通わせ、良き理解者として地域社会の中でお付き合いできますことを願う1日でありました。

(18地区 鶴田晴久 記)





本年4月7日、区内に4か所目の中学生対象の「居場所を兼ねた学習支援」施設が開設されました。この施設を利用する子どもの中には、帰宅後独りで過ごしている、親がWワーク等で忙しいため、家庭からの愛着形成が不足するなど、家庭環境、さらに、食生活にも課題を抱える子どもが多くおり、その状況は自己肯定感の低下につながると言われています。事業内容は、(利用する中学生と年齢に近い)大学生ボランティアが、学習支援は勿論、話し相手となり、野外体験や音楽、演劇など文化的活動を行うことで子ども達の自己肯定感を高めることを目指しています。事業開始から1年余、利用する子どものほとんどが高校進学を果たすなど結果も出ています。過日実際の様子を見学させて頂きました。表からは周りの建物と変わらず、

上記のような子ども達が通ってるとはわかりません。が、中に入ると語り合ったり皆で食事するフリースペースや、自習室、授業を行う教室もあり、ゆとりある落ち着いた素晴らしい環境でした。民生・児童委員活動の中で当該生徒に出会ったら、是非情報提供したいと思いました(窓口は「くらしとしごとの相談センター」です)。また、私たちが出来るお手伝いはと伺うと、利用する子どもたちは地域や季節行事の参加経験が少ないようなので、行事への招待や食事づくりの協力など、地域の支援が有難いとのことでした。



(6地区 田中礼子 記)

思いやり 差し出すその手は温かく 地域の人を結びます

こんなことがありました

北綾瀬駅拡張工事現場を囲む仕切板が殺風景なので絵を貼りたいと東加平小学校に依頼があり、去年12月から子どもたちの絵が展示されています。絵のテーマは1年生は海の中には何が、2年生はびっくりフェイス、3年生はシャッターチャンス、4年生は宇宙飛行士になって、5年生は回転版画、6年生は魚の群れということで描かれていました。

東加平小学校ではメトロと連携関係にあり、鉄道教室が催されているそうです。メトロのスタッフ50人が来て、児童に鉄道職員の制服を着てもらい写真撮影

するなどの楽しいイベントが毎年行われています。

絵の貼り出されている場所は駅入口から近く、通勤、通学、買い物、散歩する方などが足を止め見ている姿が多く見られました。絵を見ると夢のある絵、想像した絵、個性の出ている絵、どれも良く描かれていて心を和ませてくれました。

このような催しは地域を明るくし、地域と学校の関係を深めることとなります。

(東綾瀬地区 山崎秀夫 記)

〈 工 事 現 場 を 飾 る 子 ども た ち の 絵 〉





こころの健康フェスティバル



3月4日（土）、区役所の正面広場、ロビー及び2階庁舎ホールを会場とし、足立区民生・児童委員協議会、足立区社会福祉協議会、他11団体の後援、協力により「こころの健康フェスティバル」を開催。広場に11のテントが張られ、甘酒、とん汁、パン、焼きそば、コーヒーが売られ、ロビーでは、会議机1~2脚の上で自主製品の販売や子どもが遊ぶゲーム等を含め25~30の店がありました。

民生・児童委員協議会は、ロビーの総合受付の裏側のスペースにて、民生・児童委員約500人が寄付した品物が山のように積み、1個300円から、500円、700円、1000円で、生花、タオル、毛布、鍋、乾麺、洋服、コップ、靴、壁掛け時計等を販売しました。

2階では、落語家三遊亭楽春師匠の「笑いで健康、メンタルヘルスケア」と題した講演と、落語一席を演じていました。売上金は全て社会福祉に寄付となります。（神明地区 矢澤敏臣 記）



▲バザーの様子

介護ってなあに

老後を考える シリーズ6

絆の輪が広がる梅田通あった会

梅田通あった会は孤立ゼロを目指した区のプロジェクトの先駆けとして、梅田通町会の他、9つの町会自治会に依頼があり、平成22年に検討会を立ち上げ平成23年2月に発足して今年で6年目になります。町会女性部、寿会（老人クラブ）、民生・児童委員、あんしん協力員等で構成されて、区民事務所や包括支援センター関原の協力のもと活動をしています。

現在52名の見守り対象者を23名の担当委員が分担して定期的に見守っています。年に3回は9つのグループを作り一斉にふれあい巡回を行い、訪問内容を報告して活動に役立っています。昨年は5年目になり、多くの方々に梅田通あった会の活動を周知するための活動報告会が開催されました。

今年2月にはNHKワールドTV「INSAIDE LENS」の取材がありました。



▲NHKワールドTVの取材風景

「独居高齢者」をテーマに一人暮らしの高齢者をどう支えているのか梅田通あった会の活動が3月に放映されました。この番組はNHKワールドインターネット <https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/ja/> バックナンバーで見られます。

※NHKワールドTV：全世界にむけての英語放送ドキュメンタリー番組です。

(10地区 渡邊進 記)

興本扇学園
足立区立扇中学校

中学生俳句コーナー

ふいた風 散るゆく紅葉 また遠く
七年 平野 諄

汗をかき 雨浴びながら 稲を刈る
七年 武藤さくら

風通る 自然の中で 稲香る
七年 李 潤華

風吹くと 稲のささやく 声がする
七年 牛木麻衣来

静けさに 響く警策 秋の夜
七年 笹川 風吹

雨上がり 稲穂輝く 黄金色
七年 油井 虹歩

水面に 反射してゆく 秋色に
七年 平岡あゆり

宮崎会長・中田特別顧問に感謝する会



桜色の季節。3月28日（火）東武ホテルレバント東京で縁の深い方々にご出席していただき宮崎会長・中田特別顧問に感謝する会が開かれました。来賓の石川副区長は元福祉部長であり、長年お二人と共に福祉改革を推めてこられましたお一人です。仕事を終え続々と駆けつける福祉部元職員。会場のあちこちで懐かしさから歓声があがり会話が弾みます。お二人の人物そのままの同窓会のような温かい雰囲気になりました。

今では当たり前になっている活動報告書提出100%をはじめ足立区民児協の現在の活動スタイルのほとんどが、お二人の時代に確立されたものです。コーラス部創設、協議会旗等は記憶に新しいところ。小久保協議会会長が都民連の会合に出ると、いつもお二人のことが話題になる。都民連にも、どれ程貢献されたのか



唯々頭がさがるばかりだ、と。

宮崎会長・中田特別顧問の長年に渡るご尽力に対して心より感謝申し上げ、その良き伝統をこれからもしっかり受け継いでいかななくてはと、決意を新たにいたしました。桜咲く、笑顔満開の宴でした。

(竹の塚地区 小島千恵子 記)



中川小 5年 小久保圭吾 作
「お宝を奪い合う海賊たちの闘い」



中川北小 2年 橋本緋円 作
「あやとり」

編集後記

何げなく開いた花言葉のページ、桜の花言葉を見てみると「精神の美・優美・純潔・微笑み」など、色も足立の五色桜のようにピンク・白・黄・緑など品種も多く、さすが日本人に愛される花と思います。広報委員会も新メンバーになり、五色桜のように色々な考えを持つ委員の方々と検討の上「さくら

44号」の発行となりました。今回は、どんな色の「さくら」が咲いたでしょうか？これからも広報委員のメンバーと広報紙「さくら」の花を咲かせて皆様にお伝え出来ればと思います。

(17地区 金子みどり 記)

○小学生掲載絵画および中学生詩歌、俳句の依頼は、

第一合同から第七合同の小・中学校に順番にお願いしております。

○皆様の原稿を募集いたします(原稿は未発表のものに限ります)。次号発行予定日 11月1日

原稿に関しては紙面の都合がございます。事前に地区広報委員にご相談ください。

広報委員会

委員長 鶴田晴久	副委員長 金子みどり	書記 山崎秀夫	会計 丸山まさ子	編集 田中礼子	レイアウト 齋藤祐子	校正 櫻井春子	森葉子	編集委員 吉田祐一	渡邊進	福原健治	鈴木和子	江川恒雄	金子宮代	校正委員 星野明美	松浦恵子	上野敏剛	矢澤敏人	志賀口博	足立由美子	渡辺章子	小川玲子	益塚賢治	赤羽月子
-------------	---------------	------------	-------------	------------	---------------	------------	-----	--------------	-----	------	------	------	------	--------------	------	------	------	------	-------	------	------	------	------